

# ミナトの象徴 新たな勲章

## 神戸ポータータワー 国文化財に

国の文化審議会は18日、ミナト神戸の象徴として親しまれて

いる「神戸ポータータワー」(神戸市中央区)など兵庫県内の4

力所8件を、国登録有形文化財として文部科学大臣に答申し

た。全国の新規登録は166件。3(昭和38)年に完成し、昨年

11月に開業50年を迎えた。ミナ

ト神戸のシンボルとしての価値に加え、全国初の鋼管パイプを

使った構造や、中央がくびれた

鼓形の斬新な意匠などが評価さ

れた。ほかに答申されたのは、昭和前期に建てられた鈴木薄荷株式

と5件(丹波市)。

(紺野大樹)

登録有形文化財 観光資源

登録の基準は、原則建設から

50年がたった歴史的建造物な

などとして活用しながら文化財の保護を図る制度で、1996

年に始まった。現状変更が厳しく

制約される国宝などの指定文化財

と比べると、外観などを変更する

際の規制が緩やか。建造物は原則

築50年以上で登録対象となり、今

回の答申を含め全国では9917

件に上る。

NEXT



国登録有形文化財に答申された神戸ポータータワー=18日夜、神戸市中央区波止場町(撮影・小林良多)

国登録文化財にポートタワー

# 半世紀の歩み評価

## 名実とも神戸の象徴に

国の文化審議会が18日、国登録有形文化財として答申した「神戸ポートタワー」(神戸市中央区波止場町)。ミナト神戸の象徴として市民に親しまれてきた半世紀の歩みが、「歴史的景観」と評価された。神戸市によると、展望タワーで同文化財に選ばれたのは、東京タワーや通天閣などに続いて5例目。

(小川 晶)



半世紀にわたってミナト神戸の移り変わりを  
見届けてきた神戸ポートタワー。中央区  
波止場町(撮影・大森 武)

①モダンニズム建築の面影を今に伝える鈴木薄荷株式会社の社屋  
(神戸市提供) ②縦長のアーチ窓が特徴的な松尾ビル(神戸市提  
供)



1963(昭和38)年11月21日の開業。登録の要件である築50年以上を満たし、今年1月、タワーを所有する神戸港振興協会が文化

庁に申請した。赤い独特の形状は、六甲山の緑の山並みにも、青い海と空にも映える。穏やかな光が彩る神戸の夜景の中で、ライトアップされたたたずまいが存在感を發揮し、ロマンチックな雰囲気を感じ出す。同協会の担当者は「登録により、名実ともに神戸のシンボルになっ

た」と喜ぶ。19、21日の3日間

は、タワーで記念イベントを実施。午前9時のオープンから先着各150人に、開業50周年のシールと特製ポールペンをプレゼントするほか、夜は虹色にライトアップする。神戸市内の国登録有形文化財は、タワーと同時に答申された鈴木薄荷株式会社社屋(灘区下河原通1)と、松尾ビル(旧小橋眞実服店神戸支店、中央区元町通6)を合わせ、79件になる。

神戸ポートタワーが国の登録有形文化財に答申された、とのニュースに地元でも喜びの声が上がった。タワー近くを散歩していた兵庫区の堀内宏さん(67)と田中昇さん(67)は「良かったなあ」と第一声。「国の文化財になれば、タワーの上から見る景色も違って見えるかも」と笑った。今年4月から、タワー前の中突堤中央ターミナルを発着する屋形船を運航する「神戸屋形観光汽船」の砂川衛社長(62)は「屋形船から望むポートタワーはきれいですよ。ここ

### 市民ら歓喜の声

## 「観光発展の原動力に」

は神戸の玄関。アクセスがもっと良くなれば、よりいいんだけど。」

「タワーで神戸観光を盛り上げたい」と、自ら企画会社を立ち上げた坂野雅さん(38)は「東灘区は「素晴らしい」と大喜び。昨年11月のタワー50周年に合わせ、さまざまなイベントを催してきたが、「数多い神戸の物語をタワーから発信したいというのが今の願い。文化財登録が実現への原動力になる」と力強く話した。

(坂山真里緒)